

地域連携室通信

金沢市立病院経営改善会議の答申を受けて (新しい地域連携型病院を目指して)

平成 19 年 11 月 19 日、金沢市立病院経営改善会議（金子周一委員長、7 名の委員で構成）の答申が山出市長に提出されました。本経営改善委員会は、金沢市立病院が 8 年連続で経常収支の欠損が出たため、市長が軽症のうちに手当てをする必要があると考え設置したものです。

今回の答申の特徴としては、以下の 3 つの点があげられます。まず、金沢市立病院の基本理念、経営理念を明確にいただいた点です。基本理念は、“市立病院は市民の生命と健康を守るために、市民のニーズを反映し市民に信頼される質の高い医療を提供する”であり、そのためかかり付け医、病院、保健・福祉・介護施設と連携した“新しい地域連携型病院”を目指すとなっています。市民を中心においた、切れ目のない保健・医療を提供することが市立病院の役割とされました。

第 2 の点としては、具体的な経営改善の方法を示すと同時に、平成 19 年から 5 年間の具体的な数値目標を設定していただきました。45 項目におよぶ具体的な目標が記載されており、その中でも経常収支率、病床利用率、適正な診療単価、診療材料対業収益比率等重要な項目が、年度ごとの数値目標として明確に記載されています。本年 10 月に、公立病院改革懇談会から、公立病院改革ガイドライン（案）が提出されました。その中で、経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しが提言され、平成 20 年度に改革プランを各自治体病院が提出することとなっています。本院の経営改善の答申は、総務省の改革プランを先取りしたものとなっています。

第 3 の点としては、単に経営の健全化のみならず、市民に提供する医療の質の改善についても具体的に示されています。電子カルテ・DPC・7 対 1 看護の導入とともに、市立病院の特色を明確にするために 3 つのセンターを設置することが提言されています。3 つのセンターは、呼吸器・睡眠障害センター、メタボリックシンドロームセンター、消化器センターで、診療科横断的かつ種々の医療職が参加したチーム医療を行う組織となっています。

市立病院では、経営改善会議の進行とともに、病院職員が病院の在り方を議論し、病院組織の改革、経営企画室の設置、入院センターの設置、経営の効率化等経営の健全化、医療の質の改善に取り組んでおります。そのなかで、かかりつけ医の先生方との連携が一番重要な課題であります。まだ不十分な点が多くありますが、より良い地域連携を構築するため、先生方のご指導・ご鞭撻をよろしく願います。

金沢市立病院長 高田 重男

金沢市立病院は「地域連携型病院」を目指します!!

地域連携型病院とは、真に市民の生命と健康を守るため、地域住民（ボランティア）、診療所、病院、保健・介護・福祉施設、高度先端医療施設と連携し、従来の「地域中核病院」から一歩進んだ医療機関や保健・介護・福祉施設等と広範囲な連携を行うものです。地域の保健・医療の中心的医療機関として、そして市民を中心とした新しいタイプの「地域連携型病院」として、市民が地域で安心して生活できる環境づくりを目指します。

金沢市立病院は『地域連携型病院へ』!!



開放病床運営委員会を開催しました

平成 19 年 11 月 12 日(月)午後 7 時より、本院内におきまして「開放病床運営委員会」を開催しました。事務局側からの開放病床利用状況等に関する報告と、各委員の方々からのご意見等について協議を行い、開放病床の利用促進などに関して貴重なご意見を頂きました。

より利用しやすい開放病床を目指して改善を続けていきますので、今後ともよろしく願います。



金沢市立病院 地域連携室
TEL:245-2626 FAX:245-2693
お問い合わせ・ご予約などお気軽にご
連絡ください。

ホームページアドレスが変わりました
<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/index.jsp>